

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『関西ジャニーズJr. の目指せ♪ドリームステージ!』	○		○		○
『ROAD TO HIGH&LOW』	○		○		○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

『アリス・クリードの失踪』

『グランドフィナーレ』

『フィフス・ウェイブ』

『テラフォーマーズ』

■ 松竹系 4月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『松寿操り三番叟』				
	『沖津浪闇不知火 不知火検校』	○			
	『身替座禅』	○		○	○
	『彦山権現誓助剣 杉坂墓所・毛谷村』	○			
	『幻想神空海 沙門空海唐の国にて鬼と宴す』	○			
新橋演舞場	『滝沢歌舞伎2016』			○	○
松竹座 (大阪)	『関西ジャニーズJr. 春休みスペシャルコンサート2016』				
	『寝盗られ宗介』			○	
明治座	『芦屋道満大内鑑 葛の葉』	○			
	『末広がり』	○			
	『女殺油地獄』	○		○	
	『浮かれ心中』	○			
幕張メッセ	『二人枕久』	○			
	『今昔饗宴千本桜』 (ニコニコ超会議)	○		○	
博多座	『ワンピース』			○	○
金丸座	『彦山権現誓助剣 毛谷村』	○			
	『四代目中村鴈治郎襲名披露 口上』				
	『幸助餅』	○			
	『あんまと泥棒』	○		○	
	『鷺娘』				
京都劇場	『恋飛脚大和往来 封印切』	○			
	市川海老蔵特別公演『源氏物語』			○	○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂RED/THEATER	3月	ワンツーワークス『死に顔ピース』プログラム、台本
あうるすぽっと	3月	劇団東演『兄弟』プログラム
秋葉原ズーズーC劇場	3月	『詩森ろばトークショー+「next move」』プログラム
大阪新歌舞伎座	4月	『三婆』台本
紀伊國屋ホール	3月	文学座『春疾風 はやて』プログラム、台本
国立劇場小劇場	3月	人形劇団ブーク『怪じゅうが町にやってきた』プログラム
ザ・スズナリ	4月	『素踊りの会』プログラム
シアタークリエ	4月	ブルドッキングヘッドロック『スケベの話 オトナのおもちゃ編プログラム』
RHEATRE1010	3月	『GEM CLUB』プログラム
シアタートラム	3月	ミュージカル座『ルルドの奇跡』プログラム
	4月	MONO『裸に勾玉』プログラム
シアター風姿花伝	3月	海外名作シリーズ『令嬢と召使』プログラム
下北沢駅前劇場	3月	てがみ座『対岸の永遠』プログラム
下北沢「劇」小劇場	3月	VAICE『いつかの膿』プログラム
		名取事務所『記念樹』プログラム
		TOKYOハンバーグ『愛、あるいは哀、それは相』プログラム
下北沢シアター711	3月	大森カンパニープロデュース『更地ベスト SAKURA』プログラム
新国立劇場小劇場	3月	『焼肉ドラゴン』プログラム
スペース・ゼロ	3月	劇団民藝『真夜中の太陽』プログラム
世田谷パブリックシアター	3月	無名塾『おれたちは天使じゃない』プログラム、台本
東京芸術劇場シアターイースト	3月	結城座『野鴨中毒』プログラム
	4月	ハイバイ『おとこたち』プログラム
東京芸術劇場シアターウエスト	4月	劇団民藝『二人だけの芝居 クレアとフェリース』プログラム、台本
ブーク人形劇場	3月	人形劇団ブーク『霧と風からきいた話』『ハリネズミと金貨』
中野テアトルBONBON	4月	ハルベリーオフィス『箱の中身』プログラム
俳優座劇場	3月	劇団銅鑼『池袋モンパルナス』プログラム、台本
		俳優座劇場プロデュース『もし、終電に乗り遅れたら…』プログラム
パルコ劇場	3月	『SHOW GIRLアンコール公演』プログラム
本多劇場	3月	加藤健一事務所『Be My Babyいとしのベイビー』プログラム
		M&O playsプロデュース『家庭内失踪』プログラム
	4月	モチロン『あぶない刑事にヨロシク』プログラム
三越劇場(日本橋)	4月	向田邦子没後35周年『花嫁』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『Confetti』2016年5月	『歌舞伎 研究と批評』2016年(56)
『JPL』2016年SPRING No. 61	『喝采』2016年7月特別号, 8月
『SePT倶楽部 information』 2016年2月号-4月号	『大向う』平成28年5月号
『あぜくら』2016年4月号	『伝統文化新聞』2016年(119号)
『ひろば』2016年137号	『日本芸術文化振興会ニュース』平成28年5月号
『シアターガイド』2016年6月号	『日本照明家協会誌』2016年4月号
『ジョイン』2016 Mar. No. 86	『日本舞踊』68巻5月号
『テアトロ』2016年5月号	『悲劇喜劇』2016年5月号
『ヨシモト』1巻1号-3巻7号, 復刻版別冊号	『舞台芸術研究』2016年21号
『ラ・アルプ』2016年5月号	『文楽通信』2015年18号
『演劇創造』2016年45号	『邦楽の友』平成28年5月号

(新着資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

『FLIX』2016年6月号
『NFCニューズレター』2016年4月-5月号
『SCREEN』2016年6月号
『エキブ・ド・シネマ』2016年No. 210
『キネマ旬報』2016年5月上旬号
『シナリオ教室』2016年5月号
『ドラマ』2016年5月号
『ピクトアップ』2016年6月号
『映画テレビ技術』2016年5月号
『映画秘宝』2016年6月号
『衛星劇場プログラムガイド』2016年5月号
『京橋映画小劇場 KYOBASHI-ZA』No. 33
『日経エンタテインメント!』2016年5月号
『日本アカデミー賞協会会報』79号

資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2016年2月~3月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、劇団四季、日本映画テレビ技術協会、国立劇場、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、一般社団法人長唄協会、シナリオ・センター、株式会社日本舞踊社、博多座、前進座、帝国劇場、東京芸術座、演劇出版社、株式会社東急文化村、シアタークリエ、キネマ旬報社、伝統文化新聞、ロングランプランニング株式会社、デアゴスティーニ・ジャパン、劇団青年座、東宝株式会社、国文学研究資料館、文学座、日本映画テレビプロデューサー協会、劇団民藝、関西・歌舞伎を愛する会、一般社団法人日本民間放送連盟、若林さだ吉、パルコ劇場、株式会社カモミール社テアトロ編集部、宮本明子、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、紀伊國屋ホール、公益社団法人日本照明家協会、阪急文化財団、笠井和弘、日本劇団協議会、劇団俳優座、フィルムセンター、(株)近代映画社、明治座、岩波ホール、銀座 博品館劇場、吉村順子、岡田道哉、日本映画撮影監督協会、邦楽の友社、る・ひまわり、オペラシアターこんにゃく座、おもだか会、銀座百店会、株式会社ワタナベエンターテイメント、村島彩加、愛知芸術文化センター、丸善出版株式会社、北翔大学北方圏学術情報センター、明治学院大学大学院、二兎社、映画論叢、日本近代文学館、大阪ガスピジネスクリエイト(株)OMS 戯曲賞事務局、園田学園女子大学近松研究所、公益社団法人日本バレエ協会 舞踊年鑑編集委員会、早稲田大学演劇博物館、東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、立教大学大学院現代心理学研究科、早稲田大学映画学研究会、日本劇作家協会、南あわじ市淡路人形浄瑠璃資料館、公益社団法人日本演劇協会、公益財団法人ユニジャパン

どうもありがとうございました

≫≫ お知らせ

芝居番付検索閲覧システム 追加データを公開しました

現在、立命館大学アート・リサーチセンターと当館で目録データの入力を進めている《[松竹大谷図書館所蔵・芝居番付検索閲覧システム](#)》ですが、この度入力が済んだ約1,400件を追加し、平成28年4月末現在、公開データは3,250件になりました。この検索・閲覧システムは、クラウドファンディング第3弾のプロジェクトで頂いたご支援を資金として、松竹大谷図書館が所蔵する5千枚以上の芝居番付のうち、昭和19年以前の興行の番付を、検索し閲覧できるようにしたものです。システムの開発及び公開は、松竹大谷図書館と立命館大学アート・リサーチセンターとの間で結ばれた協定に基づき、アート・リサーチセンターが行っています。

くわしくは、下記のリンクよりネットでご覧ください。

[松竹大谷図書館所蔵・芝居番付検索閲覧システム](http://www.dh-jac.net/db1/ban/search_shochiku.php) (http://www.dh-jac.net/db1/ban/search_shochiku.php)

[ご利用ガイド](http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/pdf/otani_library_browsing_guide.pdf) (PDF) (http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/pdf/otani_library_browsing_guide.pdf)

立命館大学アート・リサーチセンターのWeb サイトでも告知して頂きました。

[松竹大谷図書館所蔵・芝居番付検索閲覧システム 1467件新規公開](#)

(立命館大学アート・リサーチセンターお知らせ <http://www.arc.ritsumei.ac.jp/lib/app/news/pc/000796.html>)

「藤山寛美」展

展示期間:平成28年5月2日～6月29日
於 閲覧室

今回の展示は、本年5月大阪松竹座と7月新橋演舞場にて行われる松竹新喜劇の「藤山寛美二十七回忌追善」によせ、松竹新喜劇の名優藤山寛美の資料を展示します。

藤山寛美は、昭和4年6月15日大阪に生まれました。本名は稲垣完治、父は関西新派成美団の俳優藤山秋美です。昭和8年1月、父秋美が46歳で逝去した後、10月に新派の名優花柳章太郎から、父の一字をとった「藤山寛美」の芸名をもらい、4歳で関西新派俳優の都築文男に弟子入りします。昭和9年1月大阪道頓堀角座で子役として初舞台を踏み、関西新派のみならず、歌舞伎や新国劇にも出演しました。そして、昭和16年1月大阪歌舞伎座での松竹家庭劇『防犯当番』に出演した際に、二代目渋谷天外に勧められて松竹家庭劇に入座します。戦時中は慰問隊として満洲へ渡り、昭和22年10月に帰国後、二代目渋谷天外の劇団「すいとほ一む」への参加などを経て、昭和23年12月に中座で旗上げされた劇団「松竹新喜劇」に19歳で参加。当初は二枚目役が続きましたが、昭和26年12月に中座で上演された『桂春団治』の酒屋の丁稚役で一躍脚光を浴び、以来喜劇俳優として人気を不動のものにしていきます。昭和41年に借金問題で松竹新喜劇を除籍になりましたが、一年経たずに復帰。お客様のリクエストで



昭和16年1月大阪歌舞伎座「松竹家庭劇吉例初春公演」プログラムの『防犯当番』のページ。配役の先頭に藤山寛美の名前がある
(※こちらの資料は参考資料として複製を展示しております)

当日上演する演目を決定する「リクエスト狂言」を発案、昭和61年11月には、中座で藤山寛美年中無休二十年を達成するという記録を打ち立て、「寛美二十快笑」狂言を選定するなど、名実とともに松竹新喜劇の顔として、常に第一線で活躍し続けました。平成2年3月中座への出演を最後に、5月21日に60歳で逝去。5月28日、中座で松竹新喜劇劇団葬「さようなら藤山寛美」が行われたときには、多くの関係者や万人にもものぼるファンからの献花がありました。稀代の喜劇役者の早すぎる死でした。

なお、藤山寛美は昭和60年3月に第6回松尾芸能大賞を受賞していますが、その際、副賞の金百万円が、松竹大谷図書館へ寄贈されました。昭和60年5月発行の「松竹ぐる一ぶ社報『松竹』」の3ページ目の「藤山寛美さん松尾芸能大賞を受賞」という記事に、当館への寄贈について記載があります。松竹大谷図書館にとっても、ご縁のある俳優さんでした。

【展示資料一覧】

- 図書『役者のいろは物語』藤山寛美著 昭和48[1973]年2月浪速社発行
関西新派の子役として活躍していた時代の舞台写真や、三女直子(後の藤山直美)と共演したときの写真が掲載されている
- 「松竹新喜劇」スチール写真
 - 『どん吉の恋』昭和45[1970]年7月新橋演舞場 左より:どん吉と呼ばれている男純吉(藤山寛美),与七窯老主人 佐々木与七(二代目渋谷天外)
 - 『お種と仙太郎』昭和54[1979]年7月新橋演舞場 茶屋の女主人お岩(藤山寛美)老婆でのいじめ役で場内抱腹絶倒となる
 - 『春の夢 宝の入船』昭和56[1981]年1月サンシャイン劇場 左より:備前屋ご寮さんおはる(酒井光子),備前屋番頭善六(八木五文楽),備前屋の娘おその(四条栄美),石工堅田の源蔵(藤山寛美)
 - 『幸助餅』昭和57[1982]年1月浅草公会堂 左より:関取雷五良吉(樋口勝次朗),幸助の叔父五左衛門(白羽大介),大黒屋幸助(藤山寛美),幸助の女房おきみ(大津十詩子)
 - 『笑艶 桂春団治』昭和57[1982]年7-8月新橋演舞場 手前より:俵夫力さん(曾我廼家文章),桂春団治(藤山寛美)
 - 『銀のかんざし』昭和58[1983]年7月新橋演舞場 左より:かつの夫清之助(藤山寛美),髪結い北原かつ(酒井光子)
 - 『お祭提灯』昭和58[1983]年7月新橋演舞場 左より:丁稚三太郎(藤山寛美),金貸し山路屋幸兵衛(小島慶四郎)
 - 『大阪ざらい物語』昭和58[1983]年8月新橋演舞場 次男英二郎(藤山寛美)
 - 『夜更けのアキカン』平成元[1989]年7月新橋演舞場 左より:広島健次(都築謙次郎),夜更けのアキカン(藤山寛美)
 - 『おやじの女』平成元[1989]年7月新橋演舞場 左より:花村よね子(井上英以子),三味線弾き野沢半助(藤山寛美),藤一郎の母つる(酒井光子),藤一郎の妻はつ子(四条栄美)

- プログラム「松竹新喜劇結成公演」 昭和 23[1948]年 12 月中座 『渦中に立つ花嫁』の頁右下に 19 歳の寛美の写真あり
- 藤山寛美プロフィール写真 昭和 27[1952]年 5 月新橋演舞場公演のプログラムなどに使用されている
- 図書カバー『あほやなあ 喜劇役者の悲しい自伝』藤山寛美著 昭和 42[1967]年 12 月 15 日 光文社発行
◆裏表紙カバーに「私のパパのこと」と題し、当時 8 歳の藤山直美(本名:稲垣直子)が父寛美について文をよせている
- プログラム、スチール写真「松竹新喜劇お客様お好みリクエスト上演」昭和 47[1972]年 8・9 月新橋演舞場
◆昭和 46[1971]年 4 月に中座で初めて実施した「リクエスト狂言」(当日お客様のリクエストにより上演する芝居を決定)を新橋演舞場でも上演。スチール写真の中央に藤山寛美が写っている
- プログラム「松竹新喜劇二月公演」 昭和 49[1974]年 2 月中座 『親バカ子バカ』写真 左より:天野の息子貫一(藤山寛美)、社長天野利平(二代目渋谷天外) ◆昭和 34[1959]年 12 月に TV ドラマとして放映、天外・寛美のコンビが人気となる
- スナップ写真 昭和 50[1975]年 7 月 3 日 新橋演舞場前で「松竹 80 周年記念・松竹新喜劇連続 105 ヶ月公演達成」記念公演初日鏡抜き ◆写真右下にお客様に樽酒を振舞う藤山寛美が写っている
- スナップ写真 昭和 52[1977]年 7 月 2 日 浅草にて「松竹新喜劇東上連続無休 130 ヶ月公演」キャンペーンを行う
- プログラム「松竹新喜劇馬鹿祭り お陰様にて劇団結成四十周年目を迎えました」昭和 63[1988]年 10 月中座
- 映画スチール写真 ◆藤山寛美は映画にも多数出演
『泣き笑い日本晴れ』昭和 33 年[1958]年 9 月 7 日公開 監督:穂積利昌/脚色:舟橋和郎/原作:熱田省三
左より:二代目渋谷天外, 藤山寛美, 榎本健一
『親バカ子バカ』昭和 35 年[1960]年 9 月 11 日公開 監督:酒井欣也/脚色:森田竜男/原作:館直志
左より:二代目渋谷天外, 藤山寛美
『喜劇 夫婦善哉』昭和 43[1968]年 1 月 15 日公開 監督:土居通芳/脚色:土井行夫・森崎東/原作:織田作之助
左より:藤山寛美, 野川由美子
『キネマの天地』昭和 61[1986]年 8 月 2 日公開 監督・脚本:山田洋次/脚本:井上ひさし・山田太一・朝間義隆
藤山寛美 ◆「浅草の客」として特別出演



当館閲覧室奥のショーケースにて展示しております！

-掲載情報のお知らせ-

洋泉社MOOK『図書館へ行こう！』に 当館が掲載されております

4月18日に発売された洋泉社MOOK『図書館へ行こう！』で、松竹大谷図書館が、専門図書館の特集ページに掲載されましたので、お知らせいたします。

こちらの本は全ページカラーで、公共図書館や大学図書館、そして専門図書館など、約90館の図書館が紹介されています。第5期歌舞伎座を手がけた隈研吾氏が設計した図書館や、映画『図書館戦争』のロケ地となった図書館、作家さんを館長に迎えた図書館、駅直結の通路に作られた図書館など、実に様々な図書館が掲載されており、「図書館ってこんなに個性的だったのか！」と、一般的な図書館像が覆されること必至の1冊です。

表紙の美しい栗山千明さんの写真が目印ですので、書店で見かけましたら、ぜひお手にとってみてくださいませ。



当館の紹介ページです

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2016（平成28）年4月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



● 交通案内 ●
東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

● 入館料 無料 ●
● 閲覧 館内閲覧のみ ●
● 閲覧 Webサイトに掲示します。

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

● 利用案内 ●
● 開館時間 ●
平日午前10時～午後5時
● 休館日 ●
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間